



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	Synthetic Studies on Nigriganoside-A Dimethyl Ester [an abstract of dissertation and a summary of dissertation review]
Author(s)	木梨, 尚人
Degree Grantor	北海道大学
Degree Name	博士(理学)
Dissertation Number	甲第11140号
Issue Date	2013-09-25
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/53904
Rights(URL)	https://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/2.1/jp/
Type	doctoral thesis
File Information	Naoto_Kinashi_review.pdf, 審査の要旨



学 位 論 文 審 査 の 要 旨

博士の専攻分野の名称 博士（理学） 氏名 木梨 尚人

	主査	教授	及川 英秋
	副査	教授	鈴木 孝紀
審査担当者	副査	教授	谷野 主持
	副査	教授	伊藤 肇
	副査	准教授	藤原 憲秀

学 位 論 文 題 名

Synthetic Studies on Nigricanoside-A Dimethyl Ester
(ニグリカノシド A ジメチルエステルの合成研究)

Nigricanoside-A は、ドミニカ産ハウチワ属 *Avrainvillea nigricans* が生産する新規モノガラクトシルジアシルグリセロール (MGDG) であり、そのジメチルエステルとして単離された化合物は強力な癌細胞増殖抑制作用を持つものの、天然からの生産量は微量であり、また、いまだに7つの不斉中心の立体化学が未解明である。申請者は、その構造決定と全合成を目指した合成研究を展開し、現在までにその最も構築困難と予想される、ガラクトシルグリセロールと C20 脂肪酸鎖間エーテル結合部の立体選択的構築ならびにそれらを含んだモデル合成を達成し、また C16 および C20 脂肪酸鎖間のエーテル結合部 (C11' -O-C10) についての合成法を開発した。本論文の内容は、海産天然物全合成研究における大きな進展であると共に、有機合成化学分野の発展に寄与するものである。よって著者は、北海道大学博士（理学）の学位を授与される資格あるものと認める。